

# 感じましたか。

いう経歴が生かせるのではと思いました。 していた「事業戦略・企画立案及び推進」と **企画」といった分野は未着手で「もった** た地域であると感じました。しかし「戦略」・ て取り組んでおり、非常に可能性を秘め !」と感じると同時に、 関連する産業の産出額が国内トッ 鹿屋・大隅は、第一次産業とそれに 生産者の皆さんも情熱を持つ 前職で専門と

## たのでしょうか。 その中でどのような活動をされ

深く関わったのが「かのやカンパ

現在市民の皆さんに認知されているカン 拡大活動」につながっています。 R戦略等を策定していきました。これが パチジャック(カンパチつかみ取り)、 の、あるべき姿、について徹底的に議論を

最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。 に斬新な企画提案が求められますので、 感じた反面、 動」が全国的な評価をいただき、嬉しさを これまでの「かのやカンパチファン拡大活 漁業者交流大会」で、鹿屋市漁協青年部が 今後の仕事でも今まで以上

チ」に関する仕事です。 ソングなどの「かのやカンパチファン 目標設定や販売・P 若手 生産者と漁師 ダン

います

プライベー

ことはありますか。

業務内容は、第一次産業に関連する企業、 う思いを込めて名付けた会社です。

事業戦略だ

販路開

実行

一步

次産業にもっと光を当てたい

!! とい

先月東京都で行われた「全国青年・女性

### 同時にプレッシャ 任期中に手掛けた主な仕事 仕事以外で思い出に残っている も感じています。 ▲企画、準備、実行などすべてにおいて 携わった「カンパチジャック」

▲シンガポールでの「かのやカンパチ」、

「深蒸し茶」、「紅はるか」の商談

丼」のPRパンフレットの作成

▲「カンパチdeリゾット」、「かのや豚ばら

できるのは、鹿屋ならではの贅沢だと思 以外は人も少なく、 をしています。 よく妻と二人で浜田海岸で読書 トビーチのように使うことが こんなきれいな海を 海水浴シーズン です。 援します 拓など様々な分野で事業者の皆さんを支 けでなく、資金調達、商品開発、 団体等の事業支援(コンサルティング) お客様とともに悩み、 問題把握、 目標設定、 考え、

、 予心で・、。 今後はどのような活動をしてい 会社を設立しました。「地域の第 先日「㈱スポットライト」という と思っています 前を照らせるような会社にしていきたい る。お客様の進むべき道の半歩前、

く予定ですか。

# 第一次産業にスポットライトを **可能性を秘めた鹿屋・大隅**

新美 了さん

前職の専門領域を生かして、特に

# 都会から鹿屋市に移住して戸惑 いなどはありませんでしたか。

る場所でした。また前職で地方に住んだ のように訪れていたので、よく知ってい ことができました。 こともあったので、スムーズに移住する の家が有り、 鹿屋市は父の出身地で、祖父母 小さい頃から毎年

## 任期中にどのような活動をされ たのでしょうか。

でした。そのためにはまず地域に馴染むこ や鈎引き祭など様々なイベントに参加しま ミッションは、「高隈地区の活性化\_ 私の地域おこし協力隊としての 1年目は地区の夏祭り

> 生かして看板などの製作も行いました。 観光ツアープロジェクトのリ などの整備を行いました。また木工技術を 議会」が立ち上がり、協議会の部会の中の した。翌年には「高隈地区コミュニティ協 虫採りなどの高隈の自然を体験す ーを企画したり、谷田の滝や観音淵泉 ダーに任命

> > 大隅半島全体を活性化したい

ら鹿屋を盛り上げて

中心となってメイク講座を行い、祭りを たのですが、翌年には、前年の参加者が 呼ぶなど、私が主体となって企画等をし かのや夏祭りに仮装して参加したことで の小・中学校のPTAの皆さんと一緒に 3年間の一番の思い出は、高隈の3つ 最初の年は東京からメイクの講師を 今後もこの取り

景がここまで変貌してしまうのかという

社を先日鹿屋市内で立ち上げました。

地

まちの中

台風を経験したことがなく、

見慣れた光

があります。その自然を多くの人に体験

にも指定されている雄大な自然

大隅の魅力の一つに、

国立公園

く予定ですか。

していただき知ってもらう事業を行う会

出来事でした。これまでこれほど大きな

さらに昨年の台風16号の被害も大きな

持ちに喜びを感じました。

組みを継続していこうという皆さんの気

今後はどのような活動をしてい

繁昌 孝充さん

動を行う中で「大量の流木で何か作れな ことに大変驚きました。復旧に向けて活

いか」という相談を受けて作った製品が

### 任期中に手掛けた主な仕事

り組みを行っています。

思っています

がて大隅全体を活性化していけたらと

一部を高隈の復興のために寄付をする取 れたイベントなどで販売し、売り上げ 「タカクマトー

·チ」です。

商店街で行わ

Ó

う事業で郊外から鹿屋を盛り んどん人が少なくなっています。 には自然と人が集まりますが、 方都市である鹿屋の中でも、

上げて、

はんじょう たかみつ (31歳)

兵庫県の神戸洋家具の職人のもとで修行した

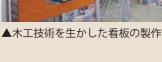
のち、山梨県内の森林組合に勤務。平成26

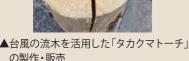
年4月から鹿屋市地域おこし協力隊に着任

神奈川県出身

▲高隈を訪れた観光客をおもてなし







### の製作・販売

### 15 Kanoya City Public Relations